

篠原國幹 しのはら くにのり 陸軍軍人。天保七年十一月五日薩摩蘭生丸、明治十年三月四日坂戸(八三六―七)。道稱冬一郎。藩費造千箇の學ぶ。文久二年伏見寺田屋事變の連坐、戊辰戦には二番隊長、明治二年彦丸高將備大隊長、四年御親兵大隊長、陸軍大佐に任じ兵部省参謀局出仕、翌年少將となり近衛尙勤務と、六年中郷隆成母等と共に下野、七年郷里の私學校監督就任。西田侯の叛亂軍の一番大隊長として出陣、熊本縣田原坂の吉次峠と戦死した。

文獻、益田友親編『傳上發國史徵實』全二冊(明治二十九年十月七日大屋書房)、早暮末助治共撰遺書集一附(現代名士遺跡)、『昭和二年十一月二十日北江美術館、富山房發賣』等。

